

## 横浜市小児科医会

### 予防接種に関するアンケート結果

・当医会会員 230 名に対して予防接種に対するアンケートを行いました。  
アンケートを郵送でお送りし、ファックスあるいは電子メールで回答して頂きました。  
104 名からご回答を頂き、回収率は 45.2%でした。

### 結果

1. 診療所・クリニックが 80%を占め(1.施設)、50・60・70 歳代が 80%でした(2.年齢)。
2. 定期接種は子宮頸がんワクチンを除いて、ほぼ全施設で行われていました。子宮頸がんワクチンは 60%でした(3-1.定期接種)。  
任意接種では、おたふくかぜとインフルエンザは定期接種と同様でしたが、ロタウイルスは 90%弱、A 型肝炎は 55%、髄膜炎菌は 35%という結果でした(3-2.任意接種)。
3. 同時接種は 90%以上の施設で行われていましたが(4-1.同時接種)、接種本数を制限していない施設は 40%弱で、50%の施設は本数制限を行っていました(4-2.同時接種本数)。
4. BCG と他の予防接種との同時接種についての質問では 40%が未回答で、単独接種は 20%でした(4-3.BCG の同時接種)。
5. 1 歳時の同時接種については設問の設定が悪く、実際にどのように接種しているかは不明な点がありますが、MR・水痘・おたふくかぜ・Hib・肺炎球菌を 60-70%同時に接種していました。標準接種時期が 1 歳よりあとの 4 種混合は 40%でした(4-4.1 歳時の同時接種①)。  
同時接種の本数は 2 本あるいは 3 本ずつが 35%で、ワクチンの組み合わせは様々でした。5 本が 20%、6 本が 25%という結果でした(4-4.1 歳時の同時接種②)。
6. 子宮頸がんワクチンを積極的に説明しているのは 20%弱で、45%はどちらともいえないとの回答でした(5.子宮頸がんワクチンについて積極的に説明している)。
7. 予防接種の例外的取り扱いが 85%が行っていて(6-1.「例外的な取扱い」の接種としている)、手続き上の問題を経験されたのは 10%程度でした(6-2.福祉保健センターでの手続きで問題があった)。担当部署で制度が理解されていなかったり断られたりした例でした。
8. 予防接種に対するご意見として最も多かったのが子宮頸がんワクチンの啓蒙・普及に関することで 10 名でした。次に多く寄せられたのが予防接種の無料化(定期接種の拡大)・補助拡大に関することで 6 名でした。その他複数寄せられたのが、ワクチン不足に対する対応について、親の理解不足、市役所など担当部署の対応についてなどでした。

## 横浜市小児科医会

### 予防接種に関するアンケート結果②

#### 総括

同時接種は多くの施設で行われていましたが、その取り組みは様々で、特に 1 歳時の同時接種は 5~6 本接種している施設がある反面、2~3 本ずつにしたり生ワクチンは単独にしたりと多様でした。

対応に苦慮しているのは子宮頸がんワクチンで、医会や学会でもっと啓蒙・普及活動を行ってほしいとの要望がありました。また予防接種の無料化(定期接種の拡大)・補助拡大に関する要望も多く、ワクチン不足に対する対応、親の理解不足、市役所など担当部署の対応の改善などの要望がみられました。

予防接種スケジュールについては、日本小児科学会や「NPO 法人 VPD を知って、子どもを守ろうの会」などを参照されていることと思いますが、同時接種などの実際のやり方については、医師の経験や考え、施設の状況・人員などを考慮して、それぞれが安全、確実にやっていることと思います。従って、横浜市小児科医会として画一的なやり方を推奨することは難しいと思われま

横浜市小児科医会としては、予防接種に関して横浜市への予算要望の中に、

- ① 定期予防接種の未実施のこどもに対する接種救済の拡大
- ② 定期予防接種について、近接する行政の区割りを越えた枠組みをつくること(例えば川崎市と)と予診票の様式共通化
- ③ 任意予防接種の無料化
- ④ 市の委託事業として実施されている小児の予防接種と乳児健診について実施医師の講習会受講の義務化制度の導入の実施

を要望していますが、今年には子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を横浜市として独自に再開することを加えました。

今秋からロタウイルスワクチンの定期接種化が予定されていますが、今後も予防接種は増えていくと思われ、小児医療の中でその重要性は増していきます。横浜市小児科医会としても会員の皆様のご意見を伺いながら対応していきたいと思

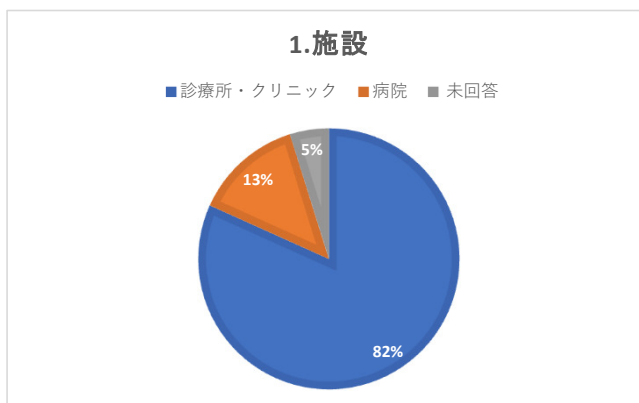
# 予防接種に関するアンケート集計結果

※アンケート回収率

送付数	回答数	回答率
230	104	45.20%

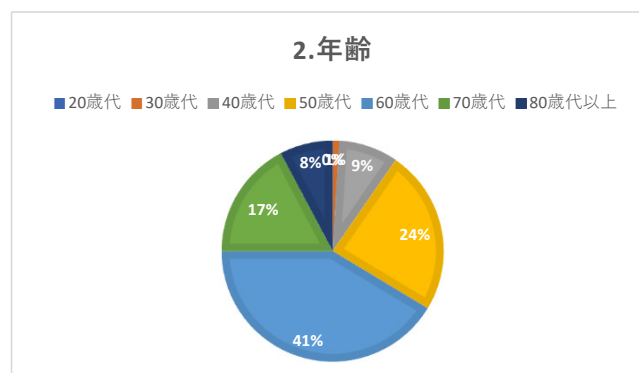
## 1.施設

診療所・クリニック	85
病院	14
未回答	5



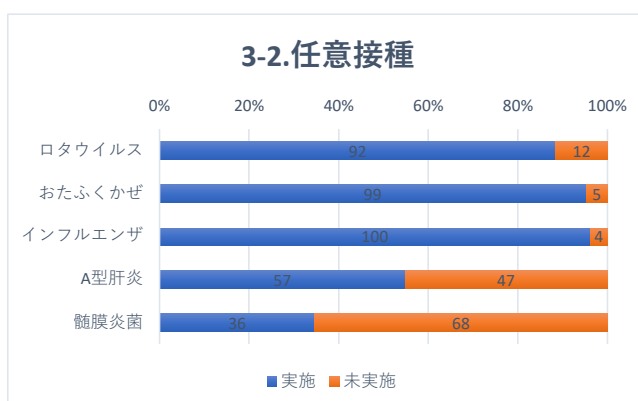
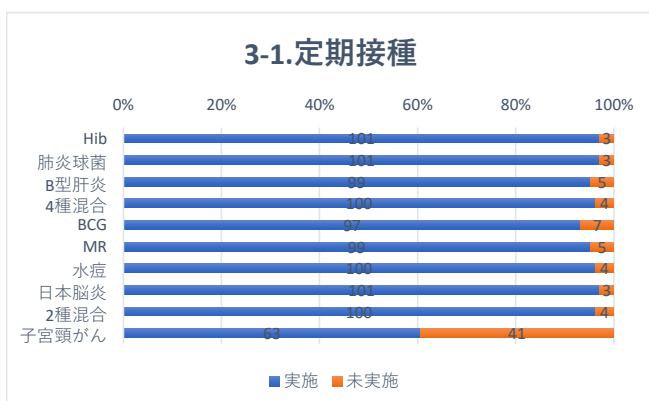
## 2.年齢

20歳代	0
30歳代	1
40歳代	9
50歳代	25
60歳代	43
70歳代	18
80歳代以上	8



## 3.行っている予防接種

定期接種	Hib	肺炎球菌	B型肝炎	4種混合	BCG	MR	水痘	日本脳炎	2種混合	子宮頸がん
実施	101	101	99	100	97	99	100	101	100	63
未実施	3	3	5	4	7	5	4	3	4	41
任意接種	ロタウイルス	おたふくかぜ	インフルエンザ	A型肝炎	髄膜炎菌					
実施	92	99	100	57	36					
未実施	12	5	4	47	68					



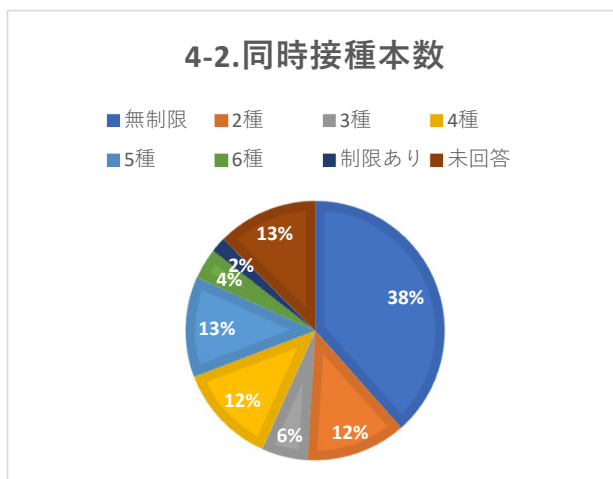
#### 4-1.同時接種

実施	97
未実施	6
未回答	1



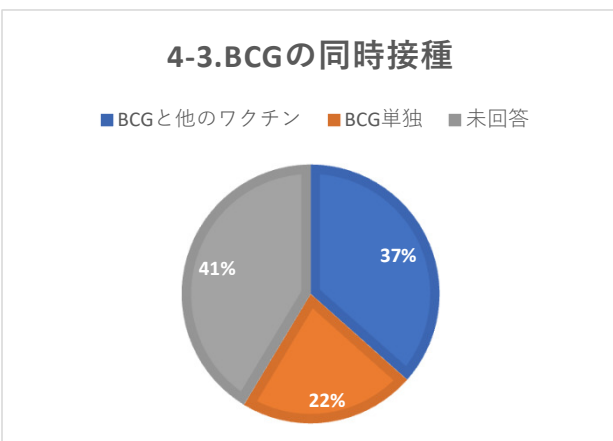
#### 4-2.同時接種本数

無制限	40
2種	13
3種	6
4種	13
5種	13
6種	4
制限あり	2
未回答	13



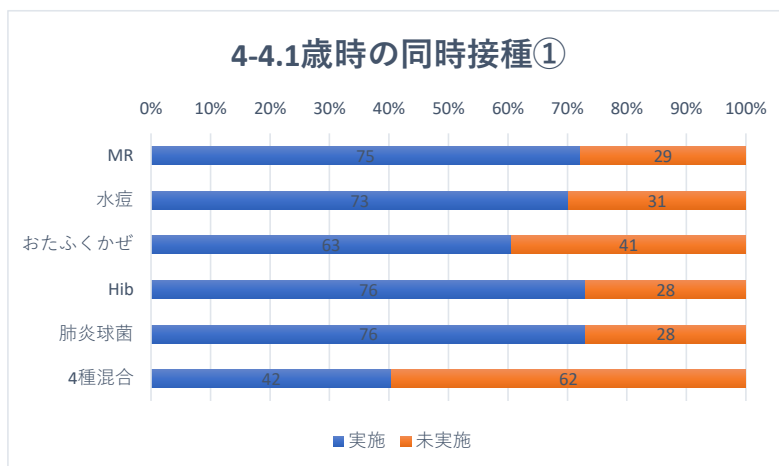
#### 4-3.BCGの同時接種

BCGと他のワクチン	38
BCG単独	23
未回答	43



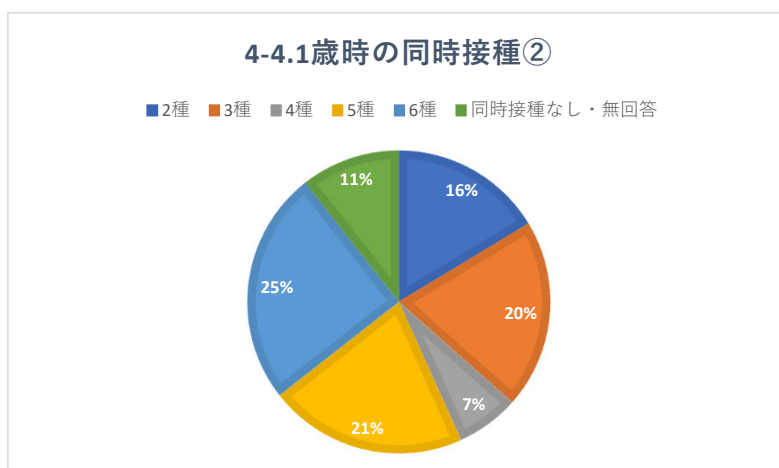
#### 4-4.1歳児の同時接種①（種類）

	実施	未実施
MR	75	29
水痘	73	31
おたふくかぜ	63	41
Hib	76	28
肺炎球菌	76	28
4種混合	42	62



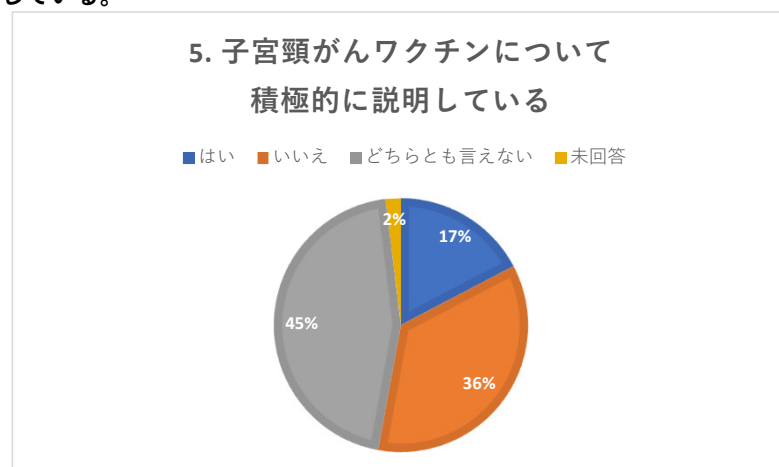
#### 4-4.1歳児の同時接種②（本数）

2種	17
3種	21
4種	7
5種	22
6種	26
同時接種なし・無回答	11



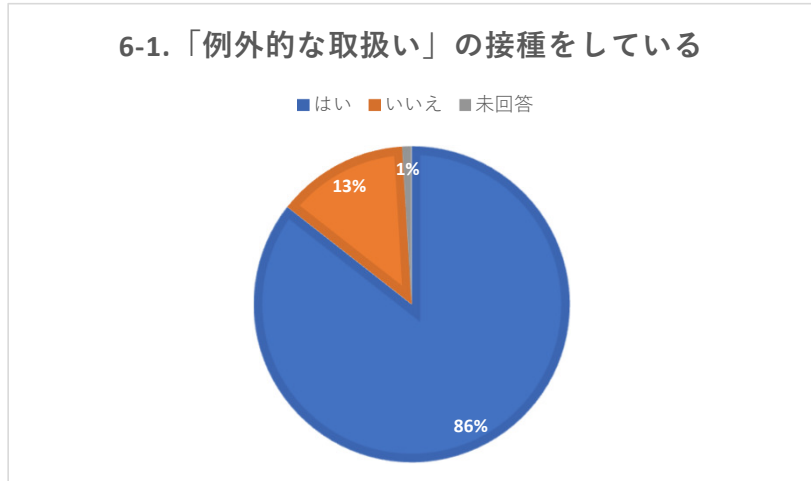
#### 5. 子宮頸がんワクチンについて積極的に説明している。

はい	18
いいえ	37
どちらとも言えない	47
未回答	2



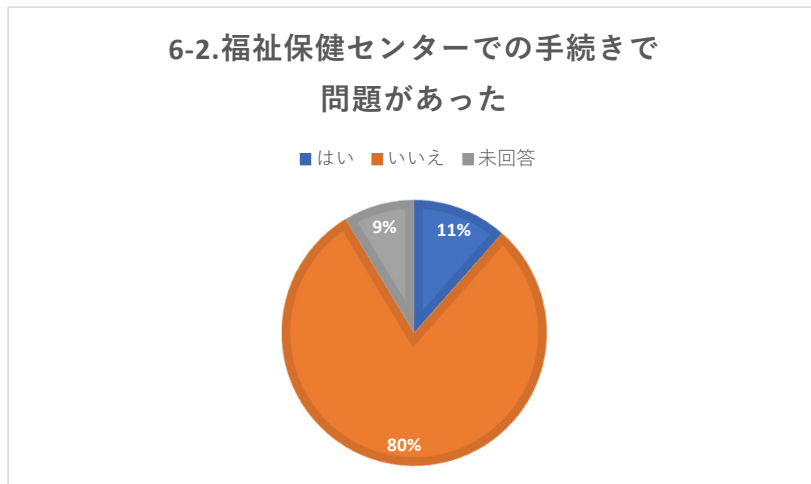
### 6-1.定期接種の「例外的な取扱い」制度について「例外的な取扱い」の接種をしている

はい	89
いいえ	14
未回答	1



### 6-2.福祉保健センターでの手続きで問題があった

はい	12
いいえ	83
未回答	9



## 予防接種についてのアンケート調査

横浜市小児科医会事務局 行き  
(FAX : 045-201-8768)

該当する項目にをお願いします。

- 施設：診療所・クリニック 病院
- 年齢：20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳代以上
- 行っている予防接種：  
定期接種：Hib 肺炎球菌 B型肝炎 4種混合 BCG MR 水痘  
日本脳炎 2種混合 子宮頸がん  
任意接種：ロタウイルス おたふくかぜ インフルエンザ A型肝炎  
髄膜炎菌
- 同時接種：実施 未実施  
実施されている方へ  
本数制限をしている。\_\_種まで。 無制限  
BCGと他のワクチン BCG単独  
1歳時の同時接種：  
MR 水痘 おたふくかぜ Hib 肺炎球菌 4種混合
- 子宮頸がんワクチンについて積極的に説明している。  
はい いいえ どちらとも言えない
- 横浜市では長期療養の場合以外に下記接種について定期接種の年齢を過ぎたお子さんに手続きにより(理由を問わず)自己負担なく予防接種が受けられる「例外的な取扱い」制度があります。  
BCG：4歳未満まで。 水痘：5歳未満まで。 MR1・2期：小学校6年生までに2回。  
2種混合：15歳未満まで  
実際に「例外的取扱い」の接種をされていますか？ はい いいえ  
福祉保健センターでの手続きで問題があったことがありますか？ はい いいえ  
(ある場合は具体的に： )
- 予防接種についてのご意見があれば記載をお願い致します。
- 横浜市小児科医会に対してご要望などありましたらご記入下さい。